

日中友好新聞

府連通信

2007年4月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 茶屋町10-6
 阪急北ビル4階
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@j
 t8.so-net.ne.jp
 ホームページ
[http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/](http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/)

「中国はいま何を考えているか」

『講演と春のつどい』開催される

日本中国友好協会・大阪府連合会主催の文化講演と日中春のつどいが、ホテルグリーンプラザ大阪に五〇名が参加して開催されました。

第一部は渡辺武大阪府連会長が「中国事情をもっと知りたい」という事から、はじめての企画として『講演と春のつどい』を開催します。日中の政治関係も少しずつ変化してきて、長い歴史の日中関係から見て、反日デモなどの影響は？中国の経済発展の現状は？改革・開放路線の行く先は？などの疑問に対して、適切な時期に出版や発言をされてこられた大西広さんの話を聞く機会を得て、時期にかなった講演を期待しています」と開会挨拶がありました。

つづいて京都大学・大学院教授の大西広さんが「中国はいま



何を考えているか・日中関係〇五年危機の反省」と題して講演されました。

大西さんは「①ナショナルリズムとのたたかいという問題 ②キー・ワードとしての毛沢東 ③歴史上の経済法則と運動との関係について」をテーマに、日中友好運動の側面も加えながら、豊かな情報を織り交ぜた熱弁をふるわれました。

第二部は中国駐大阪総領事館から莫麗麗領事をむかえ、西支部・小野さんの乾杯の音頭で春のつどいを開宴、初参加者からのスピーチも交え楽しく交歓しました。(二面に講演要旨)

多文化ふれあいデー開く

各種文化講座を宣伝

三月二五日(日)家族みんなで楽しめるフェスティバルとして三年目を迎えた、尼崎市・国際交流協会主催の多文化ふれあいデーが、尼崎市・つかしんチャータ広場開かれました。

当日は雨が心配されましたが、開会の一時間前には何とか雨が上がり、私も子供に返ったように、日本のコマ回しや中国ゴマを楽しみました。子供さんたちもなれない手つきで、コマ回しに挑戦していました。大人たちも昔取った杵柄で、子供のころは「名人だった」と色々な技を披露されて、子供たちに指導するおじさんも、また、飛び入りで渡辺武会長もコマ回しに興じて手のひらに乗せたりしていました。

きりえ体験コーナーは、子供さんから大人まで、指導の近藤さん・稲田さんも、休憩時間も取れないぐらい大忙しでした。二胡の体験コーナーも興味を持った人たちが、吉井さんの指導で二胡を楽しんでいました。中国茶のコーナーでは「中国茶

の楽しみ方」を中国語講師の張小清さんが丁寧にお手前を披露。太極拳コーナーでは、中国人女性と男性グループが飛び入り体験に参加され、まさに日中交流を体験する事が出来ました。

会場前では、受講生の林さんたちが、日中友好協会の各種講座紹介のチラシを配布、会場では昔の仲間に会えたり、東淀川太極拳サークルの方が団体で見えたりで、あつという間の充実した一日でした。(T)



日中全国大会、五月に大阪市内で開催

日中友好協会の第56回全国大会は、5月19・20日の両日、大阪市内で開催されます。

大会成功のため会議への参加と会場設営などにご協力ください。

第53回大阪府連大会は6月10日に開催

会場：ホテルグリーンプラザ大阪

府連大会 13:30~16:30、 祝賀会 17:00~19:00

連絡先：日中大阪府連合会 06-6372-8131

大阪西支部太極拳教室の鳥越さんが、二月二八日八九歳で永眠されました。鳥越さんは昨年秋ごろまで高齢にもかかわらず、毎回、皆勤賞で元気に練習されてきました。三〇周年記念交流会(東京)には、奥さんの病気が看病のため参加することが出来ず、たいへいように、九〇歳を超えるまで残念がたつておられました。で太極拳を楽しんでいきたく、控えめでおとなしく、太極



太極拳の練習をする故鳥越さん

き、誰にでも好かれる人柄でした。亡くなられる直前まで「元氣になつて太極拳をもっと上手になりたい」とご家族に言われていたそうです。西支部の宝物で希望の星であった鳥越さんの永眠には大変ショックを受けました。私たちも鳥越さんに負けな

中国はいま何を考えているか

日中関係〇五年危機の反省 (講演要旨)

京都大学・大学院教授 大西 広

ナシヨナリズムとの

闘いという問題

日中双方にナシヨナリズムがあり、これとのたたかいはたいへんむづかしい。六〇年安保闘争はナシヨナリストを味方にして、アメリカの強引なやり方とたたかった。今回はナシヨナリズムをマスコミがあおった。マスコミは読みたい記事、観たい映像、国民が気に入るテーマで、悪いやつをみつけて採り上げる一種

の病理現象みたいなもの。中国人は自分の将来は「がんばれば何とかなる」経済成長段階。しかし日本人は未来に展望をもてない状況にある。

安全面では空気の薄い高原を走りますから、そのつど『酸素濃度を徐々に薄く』しながら運行しますが、平地のような酸素濃度ではありません。そんな事をすれば現地到着時には高山病にかかります。当然徐々に薄く慣らしながらの運行です。

さらに現地に到着すると、日焼け止めやサングラスは目を守るための必需品です。そのほかの対策として安全面については、列車には全地球測位システム(GPS)も導入さ

せよと言っている。

キー・ワードとしての

毛沢東思想

中国の若者は「愛国者」として反日デモをするなど言

たい。中国の建国思想は、日本人と軍国主義者とを区別していた。米戦時情報局もそうだと言っている。日本人捕虜の扱いは「帰るか/残るか」を選ばせた。建国思想・毛沢東思想の本質は誰が敵で友人か、それが革命の基本問題と強調している。(毛沢東選挙冒頭一行目の文章)友人を大きく広げて、運動として成功した。他に「調査なくして発

言なし」「大地主と中小地主を区別」「国民党にも良・悪がある」などと論じている。矛盾論は平板な弁証法だが、くすくす、くすくす、すべての物は二つに分かれるという論法で、第二次国共合作を成功させた実践的な裏づけがある。その後の間違いは人民を二つに分けたこと。

日本の変革のためにも、中国から学ぶべきことは、「合作思想」。もう一度まじめに考えるべきテーマではないか。歴史上の経済法則と運動との関係について、日中関係は必ず改善する。

歴史上の経済法則と

運動との関係について

さらに現地に到着すると、日焼け止めやサングラスは目を守るための必需品です。そのほかの対策として安全面については、列車には全地球測位システム(GPS)も導入さ

さらに現地に到着すると、日普通寝台(中段896元)一等寝台(下段1434元)日本円にして約二万円(一元十五円)。日程は二日二日半かかりますが、割安の硬座席四六人掛けと軟座席(四人用)ボックス

るといよいよ四千m級の高原地帯です。空気は希薄で高山病が心配です。乗務員も多少は訓練してありますが例外ではありません。呼んでもすぐに来ないのはサービスが悪いわけではないようです。少し働いては休むの繰り返しで自らの健康をまもるためのです。健康な人でも大変厳しい環境なのです。

現地は温度差、空気が稀薄なことから心臓、循環器系や呼吸器系、消化器系で潰瘍のある人、脳梗塞を経験した人たちはまずだめでしょう。チャンスがあれば元気なうちにどうぞ!

高山病・紫外線対策に

酸素吸引装置と窓にペアガラス

酸素の必要な場合に備えて座席下などに酸素吸引装置も設置されています。そして高度が上がるほど空気が薄くなり強い紫外線が降り注ぎますから、その対策として列車の窓はペアガラスで、紫外線対策と気温変化の対応をかねて二重にして有ります。

れて青梅省西寧に設置された運転指令センターで車両運行状況を把握しています。鉄道に乗る費用は出発地により違いがありますが、仮に広州から拉萨間だと4980km五七時間三〇分、

(6765円)程度の切符も有るにはありますが余りお勧めできません。ラサ行きのブームで混雑していますしキップも手に入りにくいようです。

西安からコルムド市を通過す

太極拳教室案内 開講中
府連教室 開講中
 なんば府立体育館など
 月曜日午後六時三〇分から
西支部教室 開講中
 茶屋町・東梅田学習センター
 木曜日午後六時三〇分から
守口教室・第一中学体育館
 金曜日・午後七時から
守口東部教室・東部公民館
 土曜日・午後一時から
富田林教室 開講中
 ケアセンター「けあばる」
 水曜日午後六時三〇分から

(常任理事 松原弥寿夫)